

新規事業採択時評価

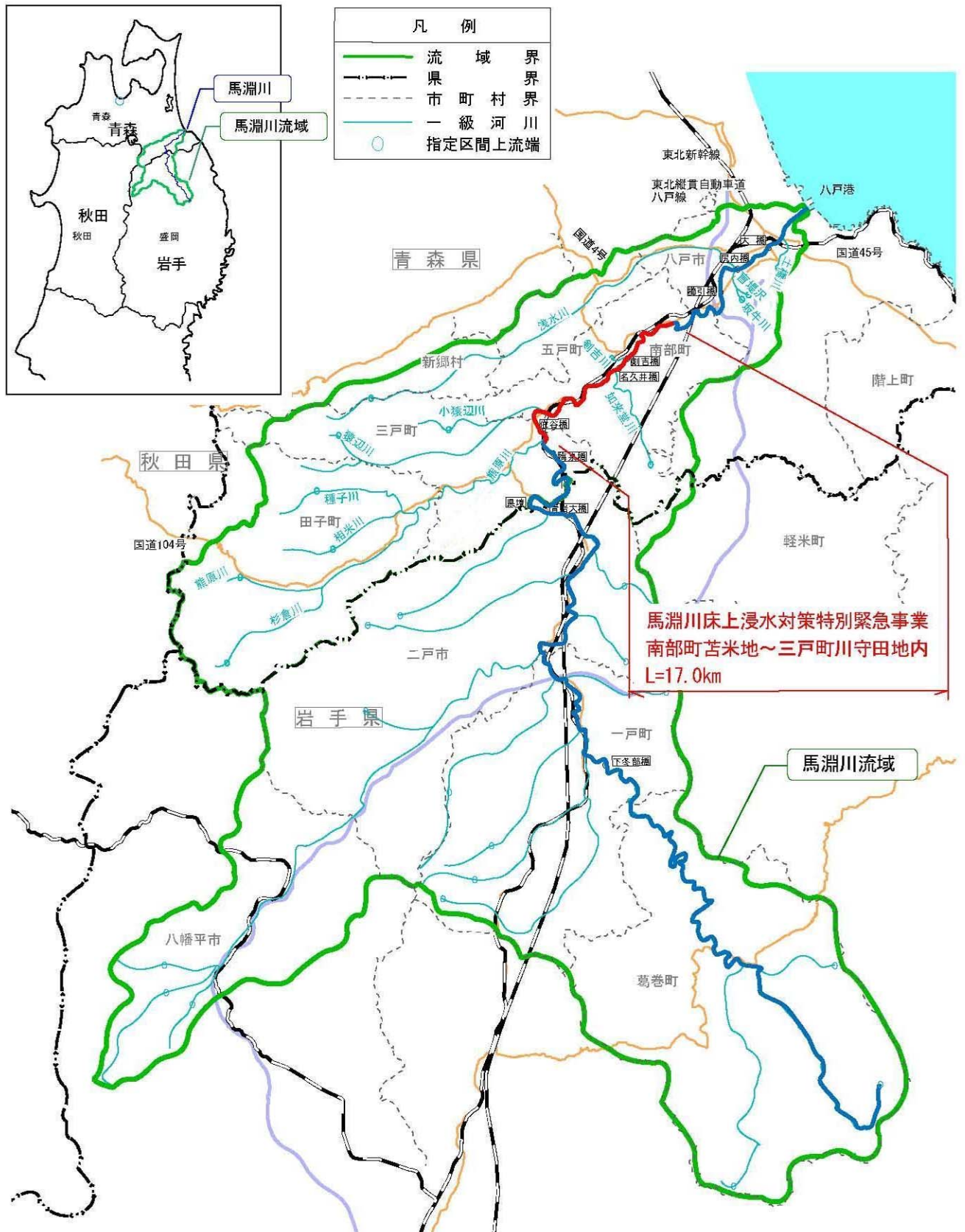
【河川事業】

(補助事業等)

➤ 馬淵川床上浸水対策特別緊急事業	・ ・ ・ ・ ・	1
➤ 柿川床上浸水対策特別緊急事業	・ ・ ・ ・ ・	3
➤ 十二沢川床上浸水対策特別緊急事業	・ ・ ・ ・ ・	5
➤ 大美川・戸口川床上浸水対策特別緊急事業	・ ・ ・ ・ ・	7

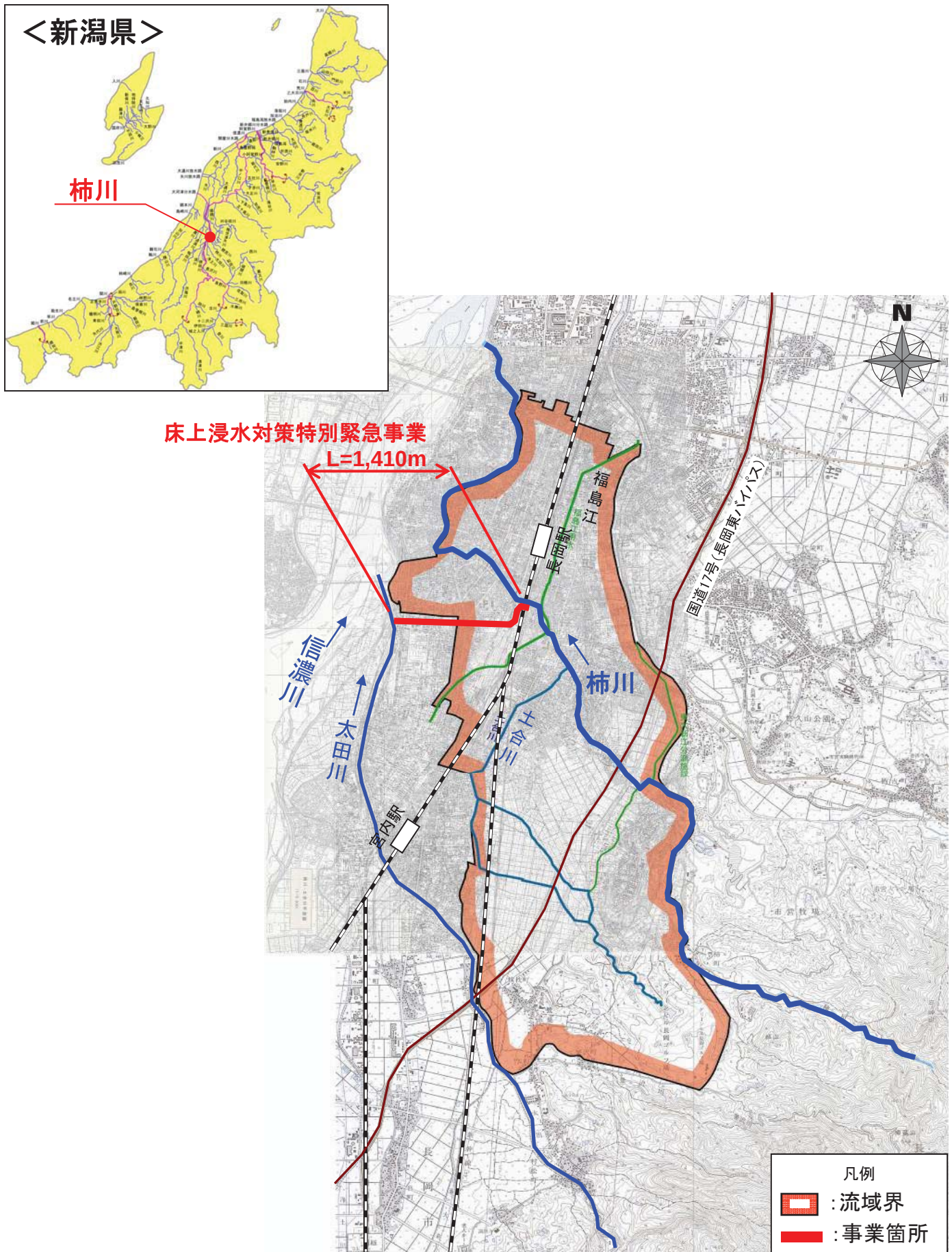
事業名 (箇所名)	馬淵川床上浸水対策特別緊急事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 森北 佳昭			事業 主体	青森県		
実施箇所	青森県三戸郡南部町、三戸郡三戸町									
事業諸元	河道掘削V=700,000m3、輪中堤L=750m									
事業期間	平成24年度～平成27年度									
総事業費 (億円)	約26									
目的・必要性	<解決すべき課題・背景> - 馬淵川中流部は上下流バランスから連続堤での改修が困難な状況にあり、流下能力が極めて低い。 - 平成14、16、18年と立て続けに氾濫し、平成23年9月の台風15号では床上浸水185戸、浸水戸数270戸におよぶ甚大な被害が発生している。 <達成すべき目標> - 輪中堤の整備および河道掘削による流下能力の向上を図り、宅地の治水安全度1/20を確保する。 <政策体系上の位置付け> - 政策目標: 水害等災害による被害の軽減 - 施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する									
便益の主な根拠	年平均浸水軽減戸数: 11戸 年平均浸水軽減面積: 71ha									
事業全体の投資効率性	基準年度		平成23年度							
	B:総便益 (億円)	39	C:総費用(億円)	26	B/C	1.5	B-C	13	EIRR (%)	6.5
事業の効果等	- 輪中堤の整備により、25戸の浸水被害を解消する。 - 河道掘削により、想定氾濫区域内301戸の浸水被害の防止を図る。									

位置図



事業名 (箇所名)	柿川床上浸水対策特別緊急事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 森北 佳昭			事業 主体	新潟県			
実施箇所	新潟県長岡市										
事業諸元	放水路(L=1,410m)、排水機場(5.5m3/s)										
事業期間	平成24年度～平成28年度										
総事業費 (億円)	約91										
目的・必要性	<解決すべき課題・背景> ・断面も不十分なことから洪水時には溢水氾濫を生じる恐れがあるが、密集市街地を流下しているため、河道拡幅による流下能力向上は困難な状況である。 ・近年でも浸水被害(平成16、17、19、23年)が頻発しており、特に平成23年7月新潟・福島豪雨では甚大な浸水被害(床上浸水147戸、床下浸水734戸)が発生している。 <達成すべき目標> ・放水路により洪水を安全に流下させ、流域の治水安全度を向上させる。 ・近年で最大の被害が発生した平成23年7月洪水と同規模の洪水に対して床上浸水被害を解消する。 <政策体系上の位置付け> ・政策目標: 水害等災害による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する										
便益の主な根拠	年平均浸水軽減戸数: 117戸 年平均浸水軽減面積: 5.4ha										
事業全体の投資効率性	基準年度		平成23年度								
	B:総便益 (億円)	158	C:総費用(億円)	92	B/C	1.7	B-C	67	EIRR (%)	7.7	
事業の効果等	・放水路整備により現況河道負担流量を軽減。 ・近年で最大の浸水被害をもたらした平成23年7月洪水と同規模の洪水に対して、放水路整備、排水機場整備と下水道整備を一体的に実施し、床上浸水被害を解消する(147戸)。										

柿川床上浸水対策特別緊急事業 位置図



事業名 (箇所名)	十二沢川床上浸水対策特別緊急事業			担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 森北 佳昭			事業 主体	新潟県			
実施箇所	新潟県南魚沼市											
事業諸元	河道拡幅(L=520m)											
事業期間	平成24年度～平成28年度											
総事業費 (億円)	約40											
目的・必要性	<解決すべき課題・背景> ・南魚沼市中心市街地を貫流しており、流域には商店、住宅等の他にJR上越線六日町駅・国道17号等のライフラインも存在。 ・断面も不十分なことから洪水時には溢水氾濫を生じる恐れがあり、現況流下能力も低い。 ・近年でも浸水被害(平成13、14、16、17、23年)が頻発しており、特に平成23年7月新潟・福島豪雨では甚大な浸水被害(床上浸水295戸、床下浸水154戸)が発生している。 <達成すべき目標> ・掘削・護岸により流下能力の向上を図るとともに、国道17号橋梁及びJR橋の改築も合わせて施工することにより、流域の治水安全度を高める。 ・近年で最大の被害が発生した平成23年7月洪水と同規模の洪水に対して床上浸水被害を解消する。 <政策体系上の位置付け> ・政策目標:水害等災害による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する											
便益の主な根拠	年平均浸水軽減戸数:28戸 年平均浸水軽減面積:1.5ha											
事業全体の投資効率性	基準年度			平成23年度								
	B:総便益 (億円)		134	C:総費用(億円)		41	B/C	3.3	B-C	93	EIRR (%)	16
事業の効果等	・河道拡幅による流下能力の向上。 ・近年で最大の浸水被害をもたらした平成23年7月洪水と同規模の洪水に対して、十二沢川の河道整備を実施し、床上浸水被害を解消(295戸)。											

十二沢川床上浸水対策特別緊急事業 位置図



事業名 (箇所名)	大美川・戸口川床上浸水対策特別緊急事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 森北 佳昭			事業 主体	鹿児島県		
実施箇所	鹿児島県大島郡龍郷町戸口地内									
事業諸元	掘削(V=163,000m3)、築堤(L=3,200m)									
事業期間	平成24年度～平成28年度									
総事業費 (億円)	約32									
目的・必要性	<解決すべき課題・背景> ・断面も不十分なことから洪水時には越水・破堤氾濫を生じる恐れがあり、現況流下能力も低い。 ・平成22年10月(浸水戸数:133戸)及び平成23年9月(浸水戸数:72戸)と2年連続で甚大な浸水被害が発生している。 <達成すべき目標> ・築堤(引堤)、掘削、護岸により洪水を安全に流下させ、流域の治水安全度を向上させる。 ・近年で最大の被害が発生した平成22年9月洪水と同規模の洪水に対して床上浸水被害を解消する。 <政策体系上の位置付け> ・政策目標:水害等災害による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する									
便益の主な根拠	年平均浸水軽減戸数: 39戸 年平均浸水軽減面積: 7.0ha									
事業全体の投資効率性	基準年度		平成23年度							
	B:総便益 (億円)	46	C:総費用(億円)	32	B/C	1.5	B-C	15	EIRR (%)	6.9
事業の効果等	・近年で最大の被害が発生した平成22年9月洪水と同規模の洪水に対して床上浸水被害を解消する。									

位置図：鹿児島県 大島郡 龍郷町

